財務三表の見方

損益計算書とは

損益計算書は、ある一定期間における企業の経営成績を明らかにするため、その期間中に得たすべての収益、これに対応する全ての費用、最終的な損益を記載する報告書です。

３つの項目で経営結果を表します。

①　営業利益又は営業損失

・本業による損益が分かります。

水道事業の本業は、水を作ってみなさんにお届けすることです。そのために必要な費用やみなさんからいただいた水道料金などの主な営業活動の結果を表しています。

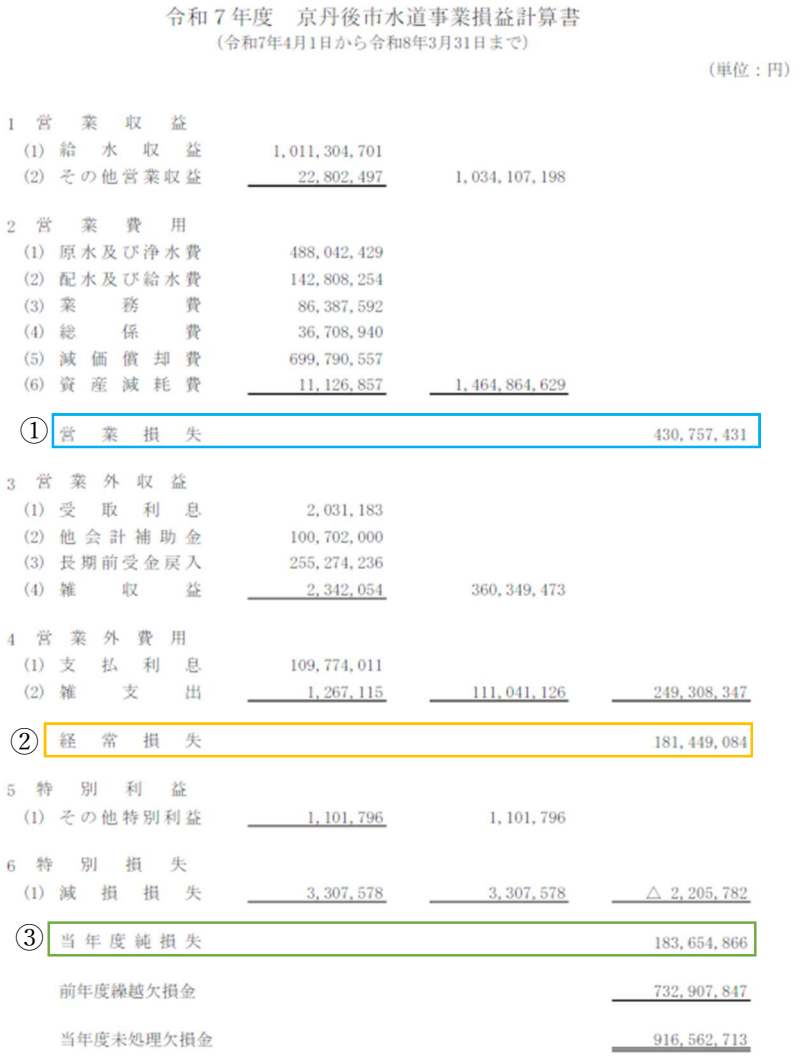
② 経常利益又は経常損失

・経営活動による損益が分かります。

本業に関する損益に加えて、国や県の補助金などによる収入や、借入利息の支払などの資金調達に関する損益の結果を表しています。

③ 当年度純利益又は当年度純損失

・1年間のすべての損益の結果を表しています。



令和７年度　京丹後市水道事業損益計算書

（令和7年4月1日から令和8年3月31日まで）

（単位：円）

1 営業収益			
(1) 給水収益	1,011,304,701		
(2) その他営業収益	22,802,497	1,034,107,198	
2 営業費用			
(1) 原水及び浄水費	488,042,429		
(2) 配水及び給水費	142,808,254		
(3) 業務費	86,387,592		
(4) 総係費	36,708,940		
(5) 減価償却費	699,790,557		
(6) 資産減耗費	11,126,857	1,464,864,629	
① 営業損失			430,757,431
3 営業外収益			
(1) 受取利息	2,031,183		
(2) 他会計補助金	100,702,000		
(3) 長期前受金戻入	255,274,236		
(4) 雑収益	2,342,054	360,349,473	
4 営業外費用			
(1) 支払利息	109,774,011		
(2) 雑支出	1,267,115	111,041,126	249,308,347
② 経常損失			181,449,084
5 特別利益			
(1) その他特別利益	1,101,796	1,101,796	
6 特別損失			
(1) 減損損失	3,307,578	3,307,578	△ 2,205,782
③ 当年度純損失			183,654,866
前年度繰越欠損金			732,907,847
当年度未処理欠損金			916,562,713

貸借対照表とは

貸借対照表は、年末時点に企業が保有しているすべての資産、負債、資本を表示する報告書です。
表左側「資産の部」は保有している資産の残高が分かります。表右側「負債の部」「資本の部」は、資産を所得するためにどのように資金調達したかが分かります。

令和７年度　京丹後市水道事業貸借対照表
（令和8年3月31日）

（単位：円）

資　産　の　部

1 固定資産			
(1) 有形固定資産			
ア 土地		540,041,722	
イ 建物	1,197,903,877		
減価償却累計額	△265,810,415	932,093,462	
ウ 構築物	18,713,830,739		
減価償却累計額	△6,941,528,673	11,772,302,066	
エ 機械及び装置	5,214,511,675		
減価償却累計額	△3,249,905,048	1,964,606,627	
オ 車両運搬具	17,619,605		
減価償却累計額	△15,215,613	2,403,992	
カ 工具、器具及び備品	148,561,128		
減価償却累計額	△125,853,155	22,707,973	
キ 建設仮勘定		2,028,935,810	
有形固定資産合計			17,263,091,652
固定資産合計			17,263,091,652
2 流動資産			
(1) 現金預金			1,268,829,565
(2) 未収金		227,513,212	
貸倒引当金		△32,469,382	195,043,830
(3) 貯蔵品			11,690,646
(4) 前払金			38,667,000
(5) その他流動資産			0
流動資産合計			1,514,231,041
資産合計			18,777,322,693

資産は性質によって「固定資産」と「流動資産」に分かれます。
区分の仕方は、１年間のうちに現金化できるものを「流動資産」、できないものを「固定資産」としています。
この区分のルールを「ワンイヤールール」と呼びます。

お金の使い道
集められたお金が「どのような状態」で「どれだけ」あるかが分かります。

お金の集め方
資産を得るためのお金を「どのように」集めたかが分かります。

負　債　の　部

3 固定負債			
(1) 企業債			
ア 建設改良費等の財源に充てるための企業債		8,580,962,741	
(2) 引当金			
ア 修繕引当金		25,444,000	
(3) その他固定負債		0	
固定負債合計			8,606,406,741
4 流動負債			
(1) 一時借入金		0	
(2) 企業債			
ア 建設改良費等の財源に充てるための企業債		582,715,467	
(3) 未払金		252,076,931	
(4) 前受金		0	
(5) 引当金			
ア 賞与引当金	11,695,000		
イ 法定福利費引当金	2,335,000		
引当金合計		14,030,000	
(6) その他流動負債		60,380	
流動負債合計			848,882,778
5 繰延収益			
(1) 長期前受金			
ア 加入金	394,237,649		
イ 補助金	2,824,091,229		
ウ 受贈財産評価額	1,145,244,749		
エ 工事負担金	714,552,105		
オ その他	65,758,390		
長期前受金合計		5,143,884,122	
(2) 収益化累計額			
ア 加入金	△262,873,005		
イ 補助金	△1,145,618,796		
ウ 受贈財産評価額	△203,435,715		
エ 工事負担金	△290,619,693		
オ その他	△65,758,390		
収益化累計額合計		△1,968,305,599	
繰延収益合計			3,175,578,523
負債合計			12,630,868,042

資　本　の　部

6 資本金			6,565,816,196
7 剰余金			
(1) 資本剰余金			
ア 再評価積立金	1,972,379		
イ 加入金	17,883,306		
ウ 補助金	67,947,671		
エ 受贈財産評価額	239,588,923		
オ 寄附金	3,243,000		
カ 工事負担金	35,637,510		
資本剰余金合計		366,272,789	
(2) 利益剰余金			
ア 減債積立金	3,600,000		
イ 建設改良積立金	127,328,379		
ウ 当年度未処理欠損金	916,562,713		
利益剰余金合計		△785,634,334	
剰余金合計			△419,361,545
資本合計			6,146,454,651
負債資本合計			18,777,322,693

負債は、企業債が代表されるように、他社に返さなければならない（支払い義務がある）お金です。

繰延収益は、資産の所得（水道管の整備等）の際に国や府から受けた補助金など、返す必要のないお金です。

資本は資本金や事業で生み出してきた利益などで、返す必要のないお金です。

キャッシュ・フローとは

キャッシュ・フローは、対象年度中の現金の増減とその内容を表す報告書です。
損益計算書や貸借対照表からは読み取りにくい「1年間の現金の流れ」をその理由と合わせて知ることができます。

①「業務活動によるキャッシュ・フロー」はプラス？

水道事業を続けていくためには、本来の業務活動で得た水道料金で、水をきれいにするための浄水場や水道管の維持管理、更新をしていかなければなりません。
そのためには、「業務活動によるキャッシュ・フロー」は必ずプラスになる必要があります。

②「投資活動によるキャッシュ・フロー」はどの程度マイナス？

現在、多くの水道施設が更新期を迎えており、多額の更新費用が必要となります。
施設を更新すれば「投資活動によるキャッシュ・フロー」はマイナスとなりますが、その規模が重要です。

③ 「財務活動によるキャッシュ・フロー」はプラス？マイナス？

水道事業では、水道料金に加えて、お金を借りることで水道施設の更新を行っています。
「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、借入と返済によるお金の増減を表し、借りた金額よりも返す金額の方が多ければマイナス、借りた金額が返す金額よりも多ければプラスになります。

④ 現金を増やすことはできた？

現金が増えているか、減っているかを確認します。
各項目の現金の増減を確認することで、その原因が分かります。

令和７年度　京丹後市水道事業キャッシュ・フロー計算書
（令和7年4月1日から令和8年3月31日まで）

（単位：円）

1　業務活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純利益（△は当年度純損失）	△ 183,654,866
減価償却費	699,790,557
減損損失	3,307,578
固定資産除却費	10,506,857
引当金の増減額（△は減少）	301,716
長期前受金戻入額	△ 256,376,032
受取利息及び配当金	△ 2,031,183
支払利息及び企業債取扱諸費	109,774,011
未収金の増減額（△は増加）	31,011,074
未払金の増減額（△は減少）	62,675,302
貯蔵品の増減額（△は増加）	△ 153,987
預り金の増減額（△は減少）	△ 76,764,456
その他流動負債の増減額（△は減少）	△ 450,000
小計	397,936,571
利息及び配当金の受取額	2,031,183
利息の支払額	△ 109,774,011
①業務活動によるキャッシュ・フロー	290,193,743
2　投資活動によるキャッシュ・フロー	
固定資産の取得による支出	△ 1,334,614,094
加入金による収入	6,077,200
補助金による収入	230,129,231
負担金による収入	1,412,400
前受金の減少額（△は減少）	△ 39,900,000
前払金の増加額（△は増加）	99,085,000
④投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,037,810,263
3　財務活動によるキャッシュ・フロー	
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	639,000,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 594,799,545
他会計からの出資による収入	409,500,000
③財務活動によるキャッシュ・フロー	453,700,455
資金に係る換算差額	0
②資金増加額（又は減少額）	△ 293,916,065
資金期首残高	1,562,745,630
資金期末残高	1,268,829,565

業務活動によるキャッシュ・フローは、水道事業本来の営業活動でお金を稼げているのかを示します。

投資活動によるキャッシュ・フローは、水道施設の更新など設備投資にどれだけ資金を使ったか、また、その財源となった収入を示しています。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金と返済額を示します。